

神戸市感染症発生動向調査週報

平成29年10月24日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数

48

ヶ所

(内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 42週

平成29年10月16日

～

平成29年10月22日

インフルエンザ

設置定点数

48

ヶ所

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～
インフルエンザ		3	2		3		1	6		15					1			2			2	3		1		3	1	1	1	

小児科

報告定点数

31

ヶ所

設置定点数

31

ヶ所

(内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳～
RSウイルス感染症	2	1	5	1	8		4	8	8	37	4	10	14	6	1	1	1							
咽頭結膜熱	2							3		5		1	2	1	1									
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1	11	1		4	1	1	3	12	34			1	1	2	2	10	2	3	5		8		
感染性胃腸炎	9	5	2		15	8	17	48	15	119	1	10	22	11	7	12	5	14	4	5	2	12		14
水痘	1	1	1			2		1	2	8			2		1	1	1	2				1		
手足口病			2		1	3		1	3	10			2	3	2	1	1		1					
伝染性紅斑	1									1		1												
突発性発疹	5	1					2			8		2	5				1							
百日咳																								
ヘルパンギーナ	6		1		1		1	2		11		2	2		1	1		3				1	1	
流行性耳下腺炎	2	1			2			4	3	12						2	2	4	2	2				

今、薬剤耐性菌が世界中で増加しています。薬剤耐性 (AMR) とは、病原体が変化して、抗生物質・抗菌薬が効かなくなることです。何も対策をとらずに現在のペースで増え続けると、2050年には、薬が効かないことが原因で1000万人 (3秒に1人) の死亡が想定され、がんによる死亡者数を上回るとされています。

原因は様々ですが、例えば、患者の判断で、症状が軽減した際に抗生物質の使用を中止したり、抗生物質の効かないウイルスが原因のかぜをひいた際にも余っていた抗生物質を使用するなどで、薬剤耐性を生じることがあります。

医療機関を受診する際は、症状を詳しく伝え、医師の指示通りに抗生物質・抗菌薬の量と期間を守って服用しましょう。

[\(ポスター\)AMR対策いきまーあず](#)

[薬剤耐性対策について | 厚生労働省](#)

眼科

報告定点数

10

ヶ所

設置定点数

10

ヶ所

(内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～6ヶ月	～12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～
急性出血性結膜炎																													
流行性角結膜炎								1		1														1					

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ノロウイルス感染症2例:1歳 男、3歳 男
○細菌性腸炎 (カンピロバクター) 1例:11歳 男
灘 区○マイコプラズマ肺炎1例:8歳 男
中央区○アデノウイルス感染症1例:1歳 男
垂水区○細菌性腸炎 (病原性大腸菌O86a) 1例: 年齢性別不明
○細菌性腸炎 (病原性大腸菌O157) 1例: 年齢性別不明
西 区○アデノウイルス感染症1例:4歳 男

【基幹定点 (市内 3ヶ所) からの報告】

マイコプラズマ肺炎1例:11歳 男
ロタウイルス胃腸炎1例:4歳 男

【市内の感染症の状況】

○RSウイルス

RSウイルス患者の報告が、定点あたり1.2人となり、先週より増加しています (先週1.0人)。例年の同時期と比較してやや多いです。

【医療機関のみなさまへ】

大阪府北部の動物病院を中心にレプトスピラ症と診断された犬の届出 (家畜伝染病予防法第4条に基づく届出) が10月以降、6件あったと大阪府健康医療部から報告がありました。

レプトスピラ症は、動物由来感染症 (スピロヘータ) の1つでペット等を介して人へ感染することもあり、感染症法上、四類感染症に指定されています。現在、兵庫県で同様の届出はありませんが、診療に際して、当疾患に関する資料をご参考いただくよう、お願いします。

[レプトスピラ症とは | 国立感染症研究所](#)

【お知らせ】 バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。 [神戸市 発生動向](#) [【検索】](#)

[「ILI情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

神戸市感染症発生動向調査週報

神戸市感染症情報センター 2017年10月25日作成

全数把握対象感染症発生状況 （二類感染症 結核）
結核届出患者数は18人(うち潜在性結核感染症10人)です。

全数把握対象感染症発生状況 （四類感染症 デング熱）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2017年10月11日	2017年10月17日	2017年10月17日	デング熱	血清での非構造蛋白（NS1）の検出	頭痛、発疹 血小板減少症 100,000/mm ³ 以下の血小板減少 その他（眼球痛）	蚊からの感染	海外渡航歴あり（フィリピン）

全数把握対象感染症発生状況 （四類感染症 レジオネラ症）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	60代	2017年10月9日	2017年10月12日	2017年10月16日	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出（イムノクロマト法）	発熱、咳嗽 呼吸困難 肺炎	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 （五類感染症 アメーバ赤痢）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
女	40代	2017年1月	2017年10月4日	2017年10月5日	腸管アメーバ症 及び 腸管外アメーバ症	鏡検による病原体の検出（大腸粘膜組織）	下痢、粘血便 腹痛・発熱 肝腫瘍	不明	-
男	50代	不明	2017年10月16日	2017年10月23日	腸管アメーバ症	鏡検による病原体の検出（大腸粘膜組織）	下痢、粘血便	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 （五類感染症 侵襲性肺炎球菌感染症）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
男	30代	2017年10月12日	2017年10月14日	2017年10月17日	-	分離・同定による病原体の検出（血液）	頭痛・発熱 咳・全身倦怠感 肺炎・菌血症	不明	ワクチン接種なし
男	70代	2017年10月12日	2017年10月14日	2017年10月17日	-	分離・同定による病原体の検出（血液）	発熱・意識障害 全身倦怠感 肺炎・菌血症	不明	ワクチン接種不明

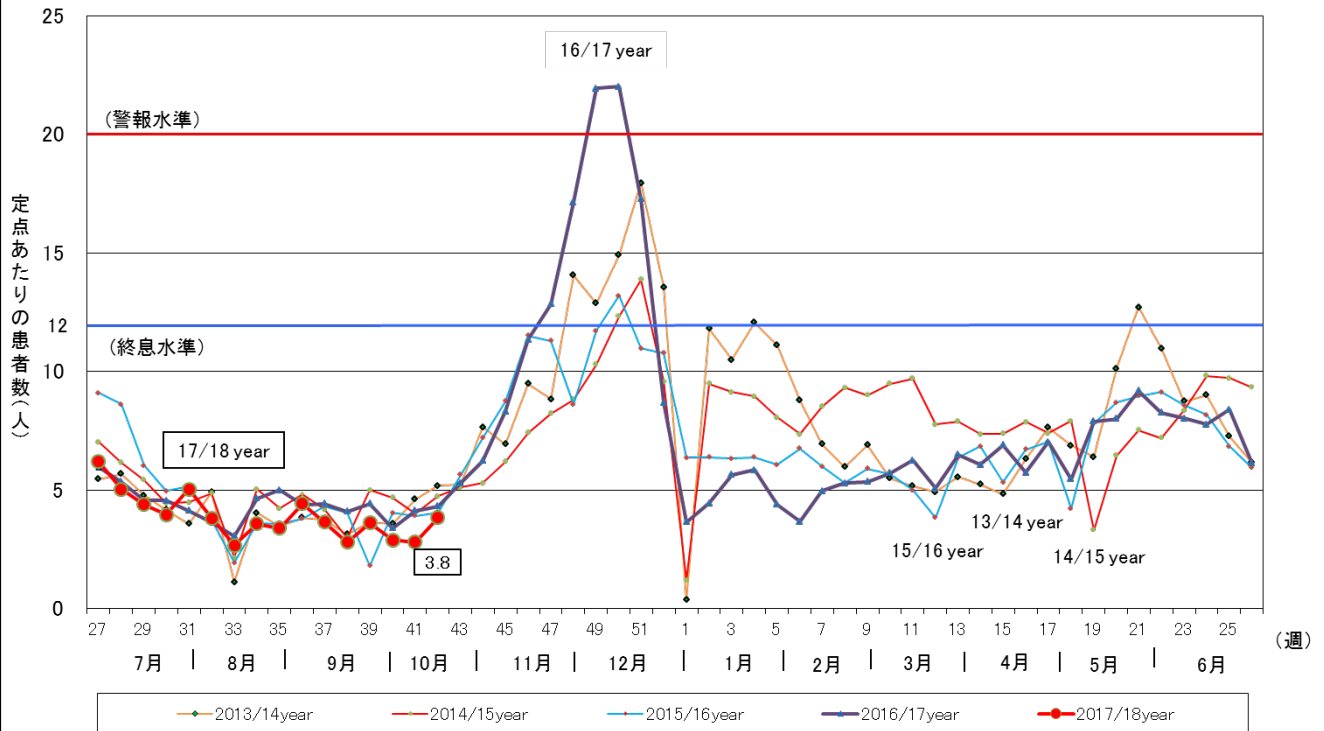
全数把握対象感染症発生状況 （五類感染症 劇症型溶血性レンサ球菌感染症）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
女	70代	2017年10月7日	2017年10月10日	2017年10月13日	A群	分離・同定による病原体の検出（手術創、壊死軟部組織）	ショック 急性呼吸窮迫 症候群 軟部組織炎	不明	-

全数把握対象感染症発生状況 （五類感染症 梅毒）									
性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病型	診断方法（検査法）	症状	推定感染原因	備考
女	30代	2017年9月頃	2017年9月22日	2017年9月30日	無症状病原体保有者	自動化法 TPHA法 FTA-ABS法	なし	異性間性的接触	-
女	20代	-	2017年9月25日	2017年10月21日	無症状病原体保有者	自動化法 TPHA法 FTA-ABS法	なし	異性間性的接触	妊婦

神戸市環境保健研究所における病原体分離・検出状況

病原体	検体	区	状況
エコーウイルス9型	咽頭ぬぐい液	東灘	3歳4ヶ月男児（10/10採取、40.0℃、手足口病）
RSウイルス	鼻腔ぬぐい液	北	1歳0ヶ月男児（10/12採取、40℃、RSウイルス感染症）
水痘带状疱疹ウイルス	水疱内容物	中央	8歳女児（10/7採取、発熱なし、水痘）
A群溶血性レンサ球菌	咽頭ぬぐい液	中央	6歳 男児（9/27採取、頭痛、発熱（38.8℃）、左右頸部リンパ節腫脹） T型別：12、薬剤感受性試験：PCG, ABPC, CTRX, CFPM, MEPM, CLDM, VCM, LVFX, GFLX（感受性）、CAM, AZM（抵抗性）
A群溶血性レンサ球菌	咽頭ぬぐい液	東灘	5歳 男児（10/12採取、発熱（38.6℃）、発疹（バラ疹）） T型別：25、薬剤感受性試験：PCG, ABPC, CTRX, CFPM, MEPM, CLDM, VCM, LVFX, GFLX（感受性）、CAM, AZM（抵抗性）

定点あたりの感染性胃腸炎患者報告数



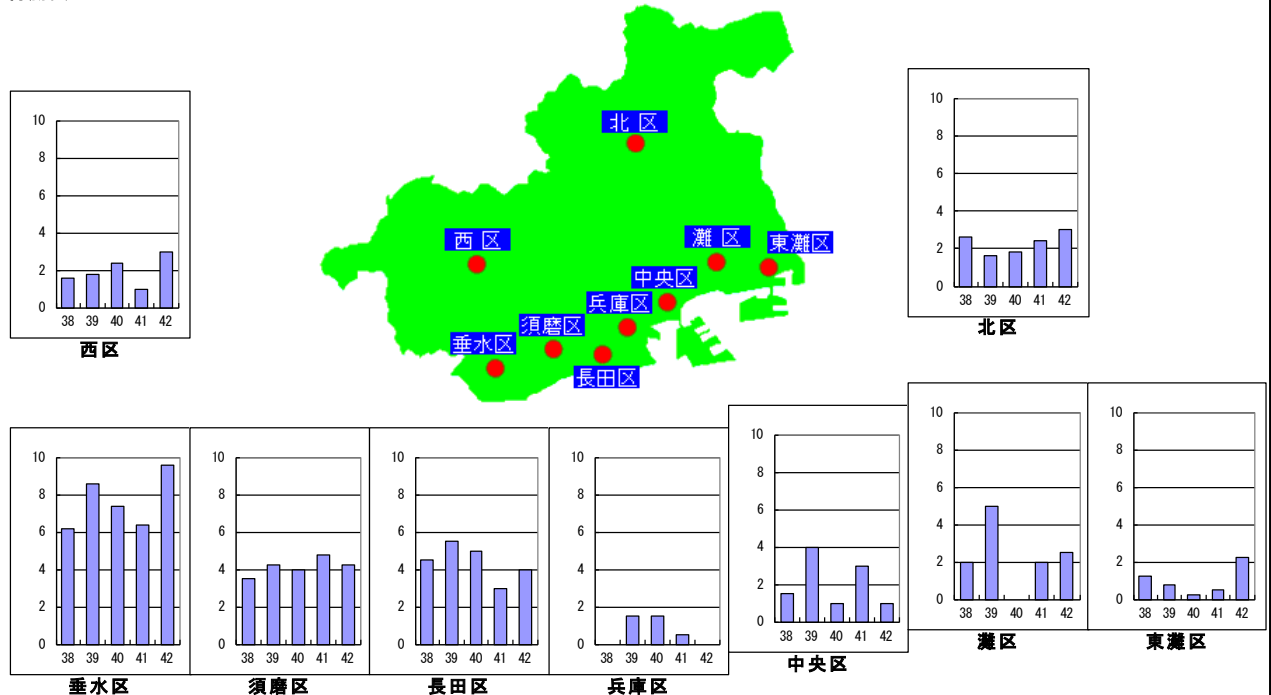
疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第 38 週 平成29年9月18日

～

第 42 週 平成29年10月22日

感染性胃腸炎



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。